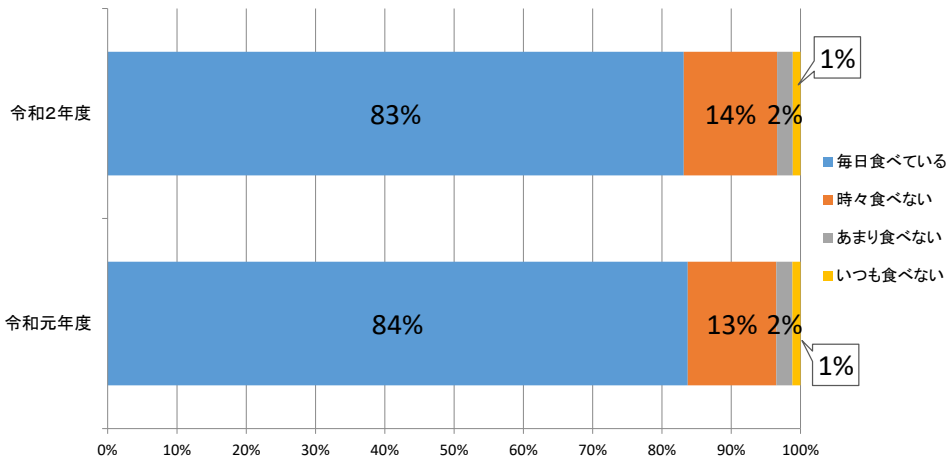


児童「食生活」アンケート <結果と考察>

(対象児童) 令和2年度 : 89人
令和元年度 : 86人

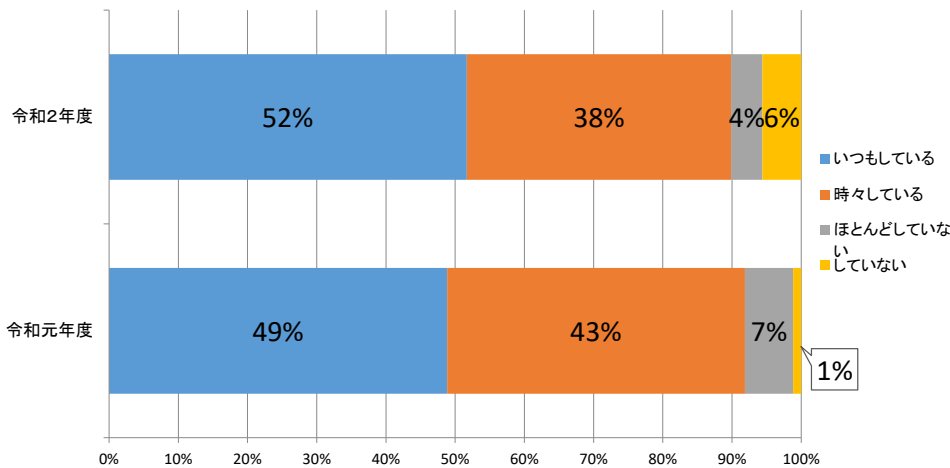
朝食を毎日食べていますか



<考察>

・「朝食を毎日食べている」と回答した児童は、令和元年度と比べると、ほとんど変化が見られなかった。
 ・児童一人一人の状況を見てみると、「時々食べない」から「毎日食べている」に変化した児童がいた半面、「毎日食べている」から「食べない」に変化した児童もいた。
 ・今後も、児童一人一人の状況を注意深く見守り、家庭にも働きかけながら、今後も朝食を食べることの大切さについて取り組んでいく必要がある。

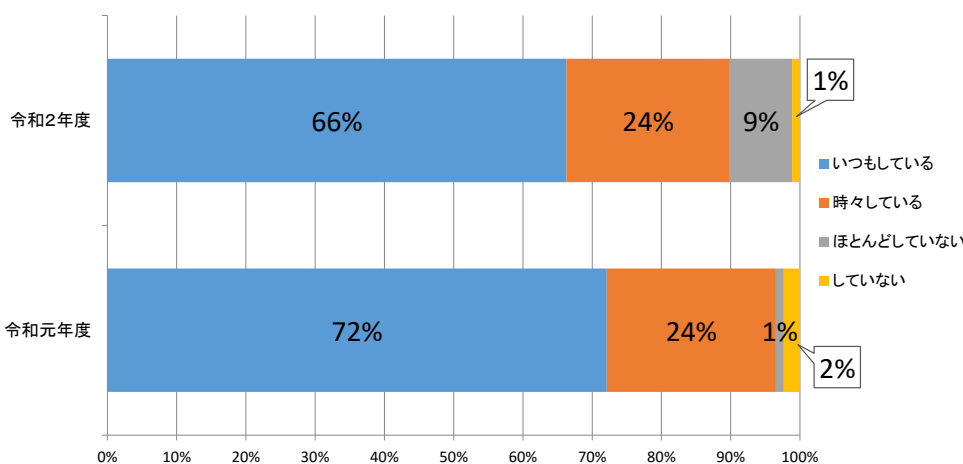
よい姿勢で、落ち着いて食べていますか



<考察>

・「よい姿勢で、落ち着いて食べている」と回答した児童は、令和元年度と比べると、わずかに増加した。
 ・その反面、「していない」と答えた児童は全体で5ポイント増加している。
 ・授業中の姿勢の乱れについても気になることから、よい姿勢について意識できるよう、全体的な指導を行う必要がある。

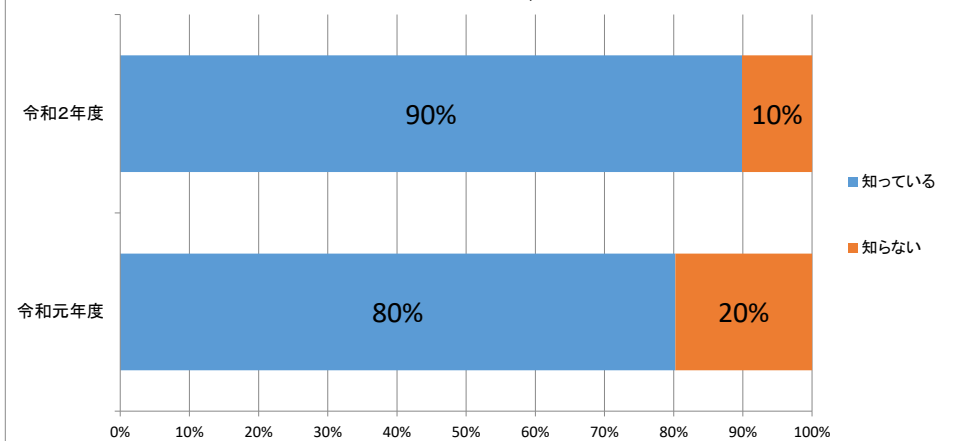
よくかんで食べていますか



<考察>

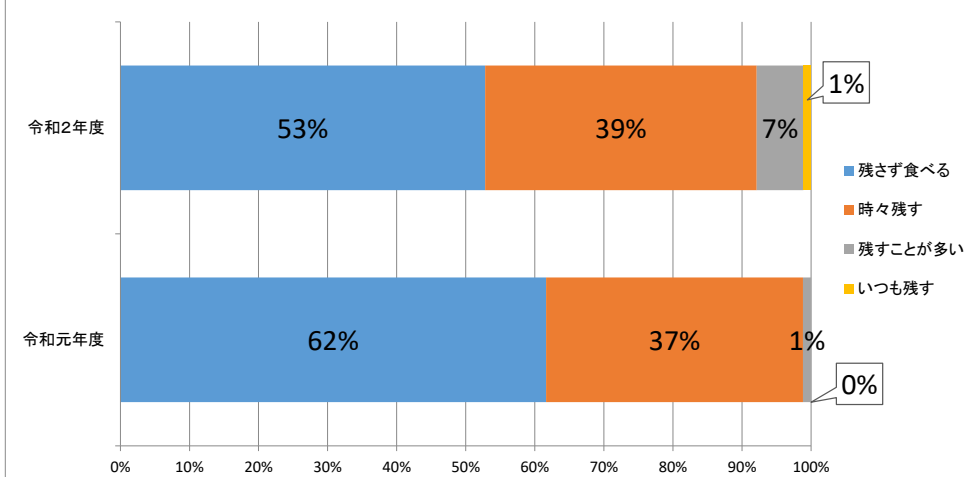
・「よくかんで食べている」と回答した児童は、令和元年度と比べると、6%減少した。
 ・コロナ禍のため、給食の時間は前を向いて会話をせずに給食を食べるため、児童は食べることに意識が集中していると予想していたが、よくかんでいないと感じている児童が増えていた。
 ・「カミカミ献立」などの日を活用し、継続的に指導を行う必要がある。

給食に、たくさんの食べ物が使われていることを知っていますか



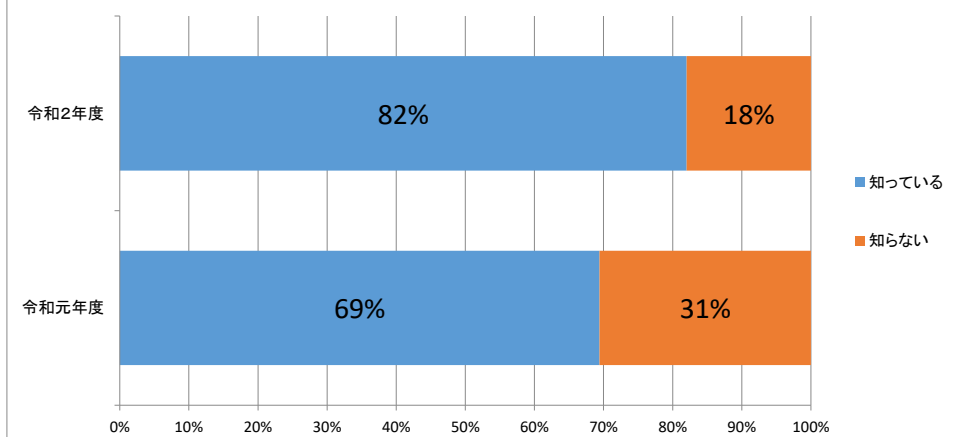
<考察>
 ・「給食に、たくさんの食べ物が使われていることを知っている」と回答した児童は、令和元年度の80%から令和2年度は90%に増加している。
 ・特に、令和2年度に総合的な学習の時間で給食の食材について調べた3年生は、「知っている」と回答した割合が、令和元年度は53%だったのに対して、令和2年度は100%であった。
 ・3年生全員が食に関する学習を通して、「食」を意識していることが成果として見られた。

給食を残さず食べていますか



<考察>
 ・「給食を残さず食べる」と回答した児童は、令和元年度と比べると、9%減少した。
 ・4年生以上の児童は「残さず食べる」と答えた割合が、令和元年度と比べ、どの学年も増加しているが、低学年は逆に「残すことが多い」と回答した児童が増加していることが要因である。
 ・残食率は、研究の取り組み前と同じように月平均1%前後で推移しているが、これまでの学習で学んだことを生かして、実践できるように働きかける必要がある。

給食に、北九州市や福岡県でとれた米や野菜が使われていることを知っていますか



<考察>
 ・「給食に、北九州市や福岡県でとれた米や野菜が使われていることを知っている」と回答した児童は、令和元年度と比べると、13%増加した。
 ・どの学年も増加していることから、研究の取り組みにより、給食への興味関心が高まったことが分かる。